



各圃場で生育状況を確認



白神きゃべつ販売額1億円達成に向けて

きゃべつ部会

今年度販売額1億円突破を目指すきゃべつ部会（塚本勝彦部会長）は、5月23日生育確認と今後の管理方法を確認するため、各圃場での現地研修会を開催しました。営農指導員からは「今後気温の上昇に伴いコナガ等の発生が懸念される。病虫害防除の徹底をお願いします。」と部会員に呼び掛けました。

6月4日には市場関係者も同席し出荷日揃会を開催しました。塚本部会長は「これから出荷のピークを迎えるが自身の体調管理にも気を付け、品質の良い白神きゃべつを皆で出荷しましょう。」とあいさつしました。

市場関係者からは「市況状況は現段階では昨年と比べ良好状態。適期収穫を心がけて、パンパンに箱詰めされた高品質な白神きゃべつの入荷を市場で楽しみに待っています。」と白神きゃべつに期待を添えておりました。

毎週土曜日秋田テレビ（8ch）に放送される「JAみどりの広場」（11:00～11:25）の“ちょっとした工夫で秋田の旬な食材をおいしくいただく”がテーマの「旬 the Cooking」のコーナーで、「白神きゃべつ」を使った料理が7月6日の放送回で紹介予定です。農繁期ですが、ひと休みして是非ご覧ください。どんな料理か見てのお楽しみです。



1億円販売達成に向けて一丸となる部会員



© AKT



審査員は定規等を用いて、一点一点厳正な審査を実施

各地区より厳選された健苗26点集結

稲作部会

稲作部会（鎌田文尋部会長）は5月10日、苗の生育確認と生産者の育苗管理技術向上を目的に、管内3支部合同の健苗コンクールを開催しました。

コンクールには出品希望者から営農指導員が事前に選出した26点の健苗が出品され、地域振興局農業振興普及課職員が審査し、特に優れた健苗を10点まで絞り込み検査機関にて発根長や乾物重などを測定後最終的な受賞者が決定しました。

今年の出品数は例年よりも少なく、その理由について営農指導員は「育苗期の高温障害等により、例年よりも難しい育苗期を過ごすこととなった生産者は育苗ハウスの温度管理等に大変苦労したと思う。」と話す。

今回のコンクールでは、最優秀賞＝工藤孝一さん（富根地区）、優秀賞＝荒木孝広さん、石田良治さん、小栗和夫さん、加藤一志さんが受賞されました。地域振興局農業振興普及課の講評では「高温障害等による苗焼けは、JAあきた白神管外でも多発していたが、受賞された苗は葉齢の遅速により若干差はみられたが、外観や苗充実度等において細やかな育苗管理により苗の形質や充実度に特に優れていた5点を選定した。」と話します。

あきた白神管内の健苗育成技術の更なるレベルアップに向けて今後も取り組んで参ります。

